

專門基礎分野

配当年次	授業科目	単位(時間)	実務経験年数	実務経験内容
3	関係法規Ⅱ (看護関係法)	1 (15)		
授業のねらい	人間社会は、たくさんの法に囲まれ、法によってその生活は成り立っている。看護師も多くの法規によって規制されたり護られたりしている。したがって本講では、看護者に必要な対象に看護サービスを提供する場合に必要な法規や関連する法規を学ぶ。			
テキスト等	専門基礎分野 看護関係法令 医学書院			
授業の方法	講義			
評価方法	試験、レポート、出席状況により評価を行なう。			
授業計画 (授業内容とスケジュール)				方法
1	1. 医事法規 1) 保健師助産師看護師法 2) 医師法 3) 医療法 4) 救急救命士法 5) 臓器移植法 6) 死産の届出に関する規定			講義
2	2. 薬事法規 1) 薬事法 2) 毒物及び劇物取締法 3) 麻薬及び向精神薬取締法 4) 大麻取締法 5) あへん法 6) 覚せい剤取締法 7) 安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律			
3	8) 医薬品副作用被害救済・研究振興調査機構法 3. 保健衛生法規 1) 地域保健法 2) 母体保護法 3) 母子保健法 4) 学校保健法			
4	5) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 6) 精神保健福祉法 7) 老人保健法 4. 予防衛生法規			
5	1) 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 2) 予防接種法 3) 結核予防法 4) 検疫法			
6	5. 公害関係法規 1) 環境基本法 2) 環境影響評価法 3) 公害の発生を防止する法 4) 公害被害者を救済する法			
7	6. 環境衛生法規 1) 食品衛生法 2) 廃棄物の処理及び清掃に関する法 3) 墓地、埋葬等に関する法律 4) 狂犬病予防法			
8	7. 福祉関係法規 1) 健康保険法 2) 国民健康保険法 3) 介護保険法 4) 生活保護法 8. その他の関係法規 1) 労働基準法 2) 個人情報保護法			

# 統合分野

配当年次	授業科目	単位(時間)	実務経験年数	実務経験内容
3	看護研究	1 (30)	10年	看護師として病院に勤務
授業のねらい	1. ケーススタディの意義目的を理解し、看護への探求行動ができる。 2. 自己の看護実践をケーススタディとして論文形式にまとめることができる。 3. ケーススタディの発表資料を作成することができる。			
テキスト等	はじめて学ぶケーススタディ 総合医学社 JNN SPECIAL94 看護研究の進め方論文の書き方 医学書院			
授業の方法	講義、演習			
評価方法	演習過程（研究計画書・論文・発表会）のすべてを評価対象とし、総合的に評価する。			
授業計画（授業内容とスケジュール）				方法
1	1. ケーススタディの概要 1) 看護研究とケーススタディ（復習） 2) ケーススタディの意義・目的 3) ケーススタディの構成要素とポイント			講義
2	2. ケーススタディの進め方 1) テーマの絞り込み 2) 文献検索の実際			講義 演習
3	3. 研究計画書について 1) 研究計画書の記入方法 2) 倫理的配慮、インフォームド・コンセント 3) 個人情報保護・データの管理			講義 演習
4	4. 論文作成の規定			講義
5	5. ケーススタディの作成			演習
6	6. ケーススタディの作成			演習
7	7. ケーススタディの提出（第1回）			演習
8	8. ケーススタディの修正・推敲			演習
9	9. プレゼンテーションと看護 1) パワーポイントについて 2) 発表原稿について 3) ケーススタディの提出（第2回）			演習
10	10. ケーススタディの最終提出			演習
11	11. 発表用資料の作成・発表原稿作成			演習
12	12. 発表用資料作成・発表原稿作成・最終提出			演習
13	13. 発表用資料の印刷・準備			演習
14	14. 発表会準備・リハーサル			演習
15	15. データ消去・振り返り・まとめ			演習

配当年次	授業科目	単位(時間)	実務経験年数	実務経験内容
3	看護管理	1 (30)	19年	看護師として病院に勤務
			16年	看護師として病院に勤務
授業のねらい	<p>近年、看護を学ぶ人たちにとって、看護実践のみならず、看護マネジメントのための知識が重要視されている。チーム医療・看護ケアにおける看護師としての調整とリーダーシップ及びマネジメントが出来る能力を養う。</p> <p>災害看護学・国際看護学では、災害直後から支援できる看護の基礎的知識ならびに国際社会において、広い視野に基づき、看護師として諸外国との協力を考える。</p>			
テキスト等	<p>統合分野 看護管理 医学書院  統合分野 災害看護学・国際看護学 医学書院</p>			
授業の方法	講義及び演習、DVD			
評価方法	試験、演習態度、レポート			
授業計画 (授業内容とスケジュール)				方法
1	1. 看護とマネジメント			講義
	1) 看護管理の定義 2) 看護におけるマネジメント			
2	2. 看護ケアのマネジメント			講義
3	1) 看護ケアのマネジメントと看護職の機能			演習
	2) 患者の権利の尊重 3) 安全管理 4) チーム医療			
4	3. 看護サービスのマネジメント			講義
5	1) 看護サービスマネジメント：サービスとは			演習
6	2) 組織目的達成のマネジメント 3) 看護サービス提供のしくみ			
	4) 人材・施設・設備環境・物品・情報			
	5) 組織におけるリスクマネジメント 6) サービスの評価			
7	4. 看護を取り巻く諸制度			講義
8	1) 医療制度 2) 看護政策と制度 3) 看護職の教育制度 護 職 の キ			演習
9	5. 看護職のキャリアマネジメント			演習
	【 災害看護学 】			
10	7. 災害看護のあゆみ			講義
	8. 災害医療の基礎知識			
	1) 災害の種類 2) 災害看護と法律			
	9. 災害看護の基礎知識			講義
	1) 災害看護の対象 2) 災害看護の特徴と看護活動			
12	10. 災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護			講義、演習
13	1) 急性期・亜急性期：トリアージ 2) 慢性期・復興期			
	3) 静穏期 4) 災害とこころのケア			
14	11. 地震災害看護の展開			講義
	【 国際看護学 】			
14	12. 国際看護学の定義			講義
	13. 国際看護学に関連する基礎知識			
	14. グローバルヘルス			
15	15. 国際協力のしくみ			講義
	16. 文化を考慮した看護			
	17. 開発協力と看護			

配当学年	授業科目	単位(時間)	実務経験年数	実務経験内容
3	統合看護技術	1 (30)	16年	看護師として病院に勤務
授業のねらい	<p>実践力につながる技術とは「実践の場に活用できる」技術のことを指す。そのためには、患者の健康レベルに合わせ思考と行動（看護技術）を統合しながら、単純な内容から複雑な内容へと学習を積み重ねていくことが必要である。また卒業後、病棟チームの一員として、スタッフ業務・役割・実践場面についてイメージできるように、模擬病院での事例を展開する。</p> <p>その成果を自信を持って臨床につなげるために、統合看護技術演習、看護実践能力の客観的評価を行い、自己の課題を明確にする。</p>			
テキスト等	<p>統合分野 看護管理 医学書院 看護学全般の教科書を使用する。授業前に指示します</p>			
授業の方法	<p>講義及び演習</p>			
評価方法	<p>講義及び演習態度、実技、筆記試験、レポート、出席状況により評価を行う</p>			
授業計画（授業内容とスケジュール）				方法
1～8	<p>1. 多重課題への対応</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 多重課題への対応総論</li> <li>2) 模擬病院での複数受け持ち患者の事例展開</li> <li>3) 複数患者の疾患及び現状を把握し、優先順位を考えた看護計画、行動計画を立案後にグループで実践する。実践後のリフレクションを通し、計画を修正する</li> <li>4) 複数患者の状況をアセスメントし、状況に合わせた看護を実践する。実践後のリフレクションを通し、計画を修正する</li> <li>5) チームメンバーと協働・連携し実施する。</li> </ol>			<p>講義 演習</p>
9 10	<p>2. 看護アセスメントトレーニング</p>			<p>演習</p>
11 12	<p>3. 患者の状態に合わせた看護の実施</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 一次救命処置</li> </ol>			<p>演習 実技</p>
13 14 15	<ol style="list-style-type: none"> <li>2) 状況設定事例に基く実践</li> </ol>			